

(振興局調整費)

部名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的、必要性	事業費(円)	委託・負担金・直営	事業実施状況	事業実施主体	事業対象者	事業決定月日(部局長会議等)及び評価確定日	事業の効果及び住民の満足度	今後の課題及び取組方向
総務企画部	金田 恵	地域企画課	十和田八幡平観光班	赤坂 匡映	0186-22-0457	東日本大震災に係る被災地支援活動事業(機能合体推進事業) 平成23年4月14日～平成23年4月29日	広域観光のパートナーであり、東日本大震災により甚大な被害を受けた岩手県宮古市において、鹿角地域発祥の「きりたんぼ」鍋による炊き出し、特産品の提供などの支援を行う	511,142	直営	・岩手県宮古市田老地区「グリーンピア田老」での炊き出し ・岩手県宮古市 山口中学校、宮古小学校での炊き出し	県	被災地住民	平成23年4月6日 平成24年10月26日	震災により避難所生活を余儀なくされている人々への支援として、鹿角の特産品である「きりたんぼ鍋」の炊き出しを行うことで、被災地に対する応援メッセージを発信した。民間団体との協働による支援活動を通じ、継続した支援の必要性を感じた。	今回限りの事業だが、復興支援として、有意義な取組であった。
農林部	倉部 明彦	森づくり推進課	林業振興班	落合 和秀	0186-23-2275	トンビマイタケ特産化推進事業 平成23年4月1日～平成24年3月31日	トンビマイタケの特産化をめざし、ハウス栽培技術の実証・展示を行うとともに、「道の駅」等での販売拡大や地域食として普及を図るためのPR活動等を行う。	404,965	直営	①6月にビニールハウス設置、菌床の栽培実験 ②7月28日料理教室開催 ③7月31日先進地視察研修(仙北市白岩地区) ④8月6日 地元スーパーでの試食販売会開催	県	地元農家	平成23年4月12日 平成24年10月26日	・ビニールハウス栽培では発生後に散水し成長を止めてしまうなどの失敗もあったが、最終的には天候に比較的影響されず良質のトンビマイタケの生産に成功。 ・料理教室では伝統料理からアイデア料理まで幅広く調理・試食し、参加者からも貴重な意見を得ることができた。 ・地元スーパーでの試食販売会では販売開始後4時間で完売し、鹿角地域におけるトンビマイタケ需要の高さが伺えた。	・トンビマイタケ栽培に取り組みたいとする農家が増えており、生産量拡大するため菌床ブロック購入に対する助成を行う。 ・伝統的な料理のみではなく、新たな調理方法による消費拡大を図る。
福祉環境部	南園智人	健康・予防課	健康・予防班	兎澤 真澄	0186-52-3952	職場におけるたばこ対策支援事業 平成23年4月～平成24年3月	鹿角地域の喫煙率は、県平均を上回る傾向にあり、動脈硬化性疾患の予防にかかる取組が不可欠であった。	141,345	直営	職場でのたばこ対策実態調査及び結果等の情報提供、講演会の開催、イベントでの啓発活動	県	鹿角地域事業場及び地域住民	平成23年5月8日 平成24年10月26日	大館保健所管内では受動喫煙対策を行っていない事業所が多く、特に小規模事業所で多いことが分かった。講演会において参加者からは、より多くの事業所へ聞かせたいとの声が多かった。	受動喫煙対策を促すため、関係機関と連携した働きかけ、健診を利用した喫煙者を減らす活動など成果が見える活動が必要と考える。
総務企画部	金田 恵	地域企画課	企画振興班	宮原 茜	0186-22-0457	鹿角地域「食・農・観」PR事業 平成23年9月10日～平成23年11月25日	「藤田観光あきたフェア」「京急あきたフェア」を「鹿角」の知名度アップを図る好機と捉え、鹿角食材のPR及び感想・反響等のリサーチを行う。	701,041	直営	・鹿角(秋田)食材を用いた料理、鹿角食材のPR ・消費者反応のリサーチ等実施 ・鹿角(秋田)食材を用いた料理コンテストの実施	県	首都圏住民	平成23年8月23日 平成24年10月26日	イベントには、藤田観光秋田フェア250名、京急あきたフェア183名の出席があり、首都圏における鹿角食材の周知PRにより知名度・かつの牛等の認知度アップにつながる取組となった。かつの牛においては、サンが少ない赤身肉であることから健康志向の方に好まれて食されていた。	特産品のブランド化、既存商品の磨き上げ、売り込みなどの課題は今後も継続した取り組みが必要である。

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的、必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施 主体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果及び 住民の満足度	今後の課題及び 取組方向
総務企画部	金田 恵	地域企画課	十和田 八幡平 観光班	赤坂 匡映	0186- 22-0457	メディア交流会事 業	鹿角地域には誇れる観光 資源が多いものの継続 的、効果的なPR活動が課 題であることから、首都 圏の雑誌等の担当者にPR し、今後の記事化に繋げ ることを目的に、鹿角地 域の観光資源の紹介や食 を介した交流会を実施す る。	448,831	直営	・首都圏の雑誌等を対象に、効 果的なPRの手法を探り、今後 の記事化につなげるための交流 会の実施	県	地域住民	平成23年10月7日	メディアに対して、鹿角の特長 である、観光、特産品のPRを 直接プレゼンテーションするこ とにより、メディアが持つパブ リシティ（記事化）の獲得に繋 がり、効果的な情報発信を図 ることができた。交流会の開催 後、取材の打診や、雑誌掲載の 話など、今後につながる活動に 結びついている。	鹿角地域への誘客、また隣接す る青森県十和田市や岩手県八幡 平市等との広域観光の推進にお いて、効果的なメディアへのPR 活動を必要としている。
						平成23年11月8日							平成24年10月26日		
建設部	佐藤 文和	企画調査課	企画調査班	酒井不二彦	0186- 23-2301	未来プロ先進地視 察事業	平成24年度の事業化を 目指している「明治百年 通りにぎわいづくりプロ ジェクト」の成功は、鉄 道博物館の継続的集客に よる黒字と、賑わいを町 商店街に運ぶ小坂鉄道の 復活であることから、成 功した先進地に教えを請 い、具体的情報を得る。	321,396	直営	(財)碓氷峠交流記念財団理事長 より成功の鍵、困難な点、克服 方法について聞く。また、碓氷 峠鉄道文化むらの各施設やコン テンツ、観光鉄道の利用状況評 判の視察を行う。	県	未来プロ (県・町 行政)担 当者	平成24年3月12日	未来プロは町が主体であり、町 職員に成功のイメージと具体的 な対策を知ってもらうことが できた。これにより、H24事業 化の提案内容の煮詰めと県の具 体的協力分野の絞り込みができ る。	旧小坂鉄道資産を活用した観光 資源創出と都市内新交通システ ムとしての発展的活用の第一段 階として観光鉄道の開業を目指 す。
						平成24年3月19日 ～ 平成24年3月20日							平成24年10月26日		
総務企画部	金田 恵	地域企画課	十和田 八幡平 観光班	花ノ木正彦	0186- 22-0457	復興促進広域連携 観光PR事業（機能 合体推進事業）	東日本大震災により落ち 込んだ管内宿泊・観光施 設と、広域観光のパート ナーである岩手県の復興 支援を目的に、機能合体 により発足の「鹿角広域 観光推進会議」と観光関 係者がスクラムを組み、 観光・物産PRイベントを 連続開催する。	1,493,260	直営	・「がんばろう！東北 秋田ふ き山菜フェア」 ・「癒やしの里かつの昼食会」 ・「アカシアまつり」 ・「大湯温泉夏祭り」	県	地域住民 ／被災地 住民	平成23年5月11日	震災による避難者への地元食材 によるおもてなしの他、自肅 ムードが大きい中での地域イベ ントでの賑わいづくりや被災地 に対する支援により、復興に対 する地域からの情報発信、地域 の活力を生み出す一助となっ ている。地域イベントへの活用・ 参加は誘客に結びつけるノウ ハウが必要であり、継続的な活動 が必要である。	今回限りの事業だが、復興支援 の取組は、今後も必要である。
						平成23年6月4日 ～ 平成23年7月24日							平成24年10月26日		